

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	個別・集団など療育内容に応じて、机の配置を変更するなど、環境面の工夫をさらに進めてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	急な欠勤や送迎時間の重複などが生じた場合も、児童の安全に十分配慮し、支援を継続できるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		室内は段差がなく、安全に移動できる環境を整えています。	エレベーターを完備し、室内はバリアフリーで車いすでの移動も可能です。引き続き、児童の特性に応じた環境配慮を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		学習終了後、その都度、使用した机・椅子・ロッカー等の消毒を徹底しています。	今後もよりいっそう、児童が心地よく過ごすことができるよう、清潔な環境を心がけてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の特性に応じて、個室を活用した療育を行っています。	今後も、児童の特性や必要な環境設定に合わせ、個室の活用を継続してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5		日々の引き継ぎの中で課題や目標を共有し、改善につなげています。	今後も、PDCAサイクルに基づく業務改善に、全職員で取り組んでまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的アンケートを実施し、いただいたご意見・ご要望は職員間で周知し、検討のうえ順次改善に努めています。	保護者様の意向を丁寧に把握し、業務改善に確実に活かしてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		日々のミーティングや引き継ぎで意見交換を行い、情報共有を進めています。	今後も、ミーティングや引き継ぎを通じて意見交換・情報共有を継続してまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		事業所内研修を計画・実施し、参加した研修内容は職員間で共有し、資質向上に努めています。	今後は外部研修などにも積極的に参加を行い職員の資質の向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公式Webサイトにて公表しております。	引き続き、内容の更新・周知を行い、実施内容との整合性を確認しながら公表を継続してまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		保護者様のニーズや児童の状況・課題を把握し、支援計画に反映できるように努めています。	今後も適切なアセスメントを行い、保護者様の意向と児童の課題を踏まえた計画作成に努めてまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理責任者と専門職が中心となり、保護者の意見を踏まえて支援計画の作成をおこなっております。	引き続き、職員間で意見を共有しながら、より良い支援計画の作成に努めてまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		個別支援会議等で計画内容を共有し、計画に沿った支援ができるよう全職員で確認しています。	今後も共通理解の徹底と情報共有を継続してまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたアセスメントツールを用いて状況把握に努めています。	今後も統一したアセスメントツールを活用し、状況把握の質を高めてまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		今後は「地域支援・地域連携」も含め、関係機関との連携を強化しながら、より具体的な支援内容の充実を図ってまいります。	ガイドラインに基づき、保護者様の意向や児童の課題に合わせて支援計画を作成してまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		専門職を中心に意見を出し合い、チームで立案した支援プログラムを実施しています。	今後も職員全体で検討を重ね、より良いプログラム作りを努めてまいります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		児童一人ひとりに合わせて、多様な体験ができるよう工夫しています。	今後も、児童に合った療育活動となるよう内容を検討し工夫してまいります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童の状況に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成し支援しています。	発達段階・年齢・保護者様のニーズを踏まえ、より適切な計画作成に努めてまいります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		必ず実施できない日もありますが、必要な情報共有ができるよう努めています。	ミーティングや引き継ぎを活用し、共通理解のもと連携した支援を徹底してまいります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		当日中に実施が難しい場合は、翌日の引き継ぎや連絡ノート等を活用し、気づきや支援内容を共有しております。	今後も振り返りの機会を確保し、情報共有を確実に進めてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個人経過記録の記入と日々の話し合いで情報共有し、支援の検証に努めています。	引き続き記録の徹底と共有により、支援の質向上を図ってまいります。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		児童発達支援管理責任者や専門職を中心に、半年以内で定期的にモニタリングを実施し、見直しの判断をしています。	今後も振り返りの機会を確保し、情報共有を確実に進めてまいります。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		ガイドラインの総則の基本活動から複数の活動を組み合わせ、直接指導にあたる職員の意見をまとめて統一した支援をおこなっております。	今後も基本活動をもとに、利用児童が楽しみながら成長できるような支援内容を検討してまいります。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		児童の特性に合わせて課題の見直しをおこない、自己選択をおこなえるよう支援をおこなっております。	今後も、児童が自己選択・自己決定の力が育つよう、特性にあった課題の提供をおこなってまいります。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況よく理解した者が参加しているか。	5		児童発達支援管理責任者や、対象児童の状況を把握している職員が会議に参加しています。	今後も担当者会議には専門職や児童発達支援管理責任者が参加し、連携を継続してまいります。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		必要に応じて担当者会議等で関係機関と連携し、情報共有のうえ支援を行っています。	引き続き、必要に応じた連携・情報共有を継続してまいります。
	28 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校とは主に送迎時や、FAXにて行事予定の送付をさせていただき、情報共有・連絡調整をおこなっております。	今後も、連絡調整を適切におこない、学校との情報共有を進めてまいります。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		移行先を交えた担当者会議で、事業所での様子を伝え情報共有を行っています。	必要に応じて会議を設定し、情報共有を継続してまいります。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		必要に応じて、担当者会議にて支援内容の情報を提供しております。	今後も卒業後スムーズに移行ができるよう、支援内容等の情報を詳しく提供してまいります。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		担当者会議等で他事業所や相談支援専門員と情報共有し、連携を図っております。	今後も専門機関との連携を図り、助言や研修を受けてまいります。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		コロナの感染予防の観点から外部での参加は控えさせていただいております。	通所利用を知られたくない保護者様もおられますので、ご意向をうかがいながら検討してまいります。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		須崎市主催の自立支援協議会に定期的に参加しております。	今後も、須崎市主催の自立支援協議会に定期的に参加してまいります。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳の記入や家族支援を通じ、共通理解を図っています。	今後も日々の様子や課題を丁寧に伝え、共通理解の深化に努めてまいります。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		情報提供は行っているものの、研修開催には至っていません。	家族が参加できる研修等の機会を設けられるよう検討してまいります。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約の際などに担当者がおこなっております。	今後も契約の際などに担当者が丁寧に説明をおこなってまいります。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童発達支援管理責任者と専門職が中心となり、保護者の意見を踏まえて支援計画の作成をおこなっております。	今後も、定期的にモニタリングをおこない、保護者の要望に沿った支援をおこなえるよう、定期的に見直しを徹底してまいります。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		保護者様に支援計画や支援方法を説明し同意を得ております。	今後も、支援計画の説明を分かりやすく明確に出来るよう努めてまいります。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		現在、家族支援を通して支援をおこなっております。	今後も必要に応じて助言や支援をおこなうように強化してまいります。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		本年度も保護者会を開催できておりません。今後は開催することができるよう保護者様の御意見をうかがい、保護者様と職員、保護者様同士が交流できるような機会を検討してまいります。	通所利用を知られたくない保護者様もおられますので、ご意向をうかがいながら検討してまいります。
	41 児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		適切な対応を取り、再発防止に努め、職員間で情報共有をおこなっております。	今後は、迅速かつ丁寧に対応してまいります。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		年4回のCOMPASS報りを発行し、毎月事業所からのご案内をしております。また公式Webサイトで事業所での様子をお伝えしております。	今後も公式Webサイトで事業所での様子をお伝えしております。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の使用や使用後の処理、開示については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	今後も、個人情報の取り扱い扱いは慎重におこない、施設できる場所に保管をおこなってまいります。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童1人ひとりと伝わりやすい方法で伝えるよう努めております。	今後も児童1人ひとりと伝わりやすい方法で伝えるよう努めてまいります。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	5		今年度、行事に地域の方々をご招待する企画はおこなっておりません。	通所利用を知られたくない保護者様もおられますので、ご意向をうかがいながら検討してまいります。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルは事業所入り口に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。防災訓練は今年度8回実施予定です。	今後は、マニュアルの周知と訓練を徹底しておこなってまいります。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、避難訓練は年間計画を立てて職員も参加して定期的に実施しております。	今後も業務継続計画（BCP）を策定するとともに、定期的に訓練をおこなってまいります。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		アセスメントやモニタリングの時に担当者確認をおこない、把握しております。	今後はアセスメントやモニタリングの時に担当者確認をおこない、把握に努めてまいります。
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、必要な場合は対応しております。	今後はアレルギーに関して保護者様と情報共有をおこない、全職員に周知し、事故のないよう努めてまいります。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		救命講習などを受講し、全職員が適切に対応できる体制をとっております。	今後は、救命講習など必要な研修を受講し全職員が適切に対応できる体制を整えてまいります。
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族へ周知しているか。	5		保護者引き渡しカードを作成し、安全に引渡しができるように引き渡しカードの使用の説明をおこなっております。	今後は、引き渡しカードについて保護者に説明をしていき、連携を図ってまいります。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		事故が発生した場合にはヒヤリハット報告書の作成、保管をおこない、再発防止に努めております。	今後は、ヒヤリハット報告書の作成をおこない、事故の再発防止と未然防止に努めてまいります。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所内で虐待防止についての研修をおこなっております。	今後は、事業所内で職員研修を実施し、虐待防止に努めてまいります。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		やむを得ず拘束が必要となる場合には、事前に保護者様の同意を得て、かつ支援計画にも明確に記載し、保護者様の同意を得ております。	今後は、原則として身体拘束をおこなわない基本姿勢を大切に、やむを得ず必要となる場合には、事前に保護者様の同意を得て、かつ支援計画にも明確に記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。